

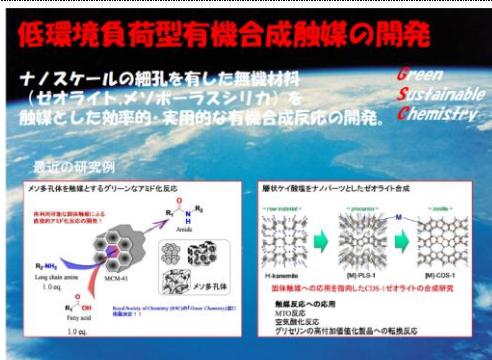
低環境負荷型の効率的な触媒反応の開発

グリーンな化学プロセスを目指した触媒化学

技術分野分類 5503：触媒・資源化学プロセス

技術キーワード A：触媒反応

産業分類 E-16：化学工業

内 容	概要	低環境負荷型の効率的な触媒反応を開発している。特にゼオライト、メソポーラスシリカと呼ばれる多孔質無機材料を中心にその合成法の検討や機能性の評価を行っている（図参照）。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	石油精製用の触媒として利用されているゼオライトに焦点を置き、クリーンで省エネルギーな新しい触媒反応を研究している。また、新しい機能性や性質を付与させるゼオライトの合成法の研究や、高表面積を有するメソポーラスシリカについて合成法や機能性の検討を行っている。さらに、再利用可能なアミド化反応用触媒の開発やCDS-1ゼオライトの機能化を検討している。
	本技術の有用性	機能性を考慮して構成したゼオライトにより、低環境負荷型の触媒反応が可能である。また、触媒の回収・再利用が可能であり、触媒の廃棄にかかる問題がない。
関連情報 (図・表・写真等)		<p>低環境負荷型有機合成触媒の開発</p> <p>ナノスケールの細孔を有した無機材料（ゼオライト、メソポーラスシリカ）を触媒とした効率的・実用的な有機合成反応の開発。 <i>Green Sustainable Chemistry</i></p> <p>最近の研究例</p>  <p>グリーンケミストリーを志向した触媒化学</p>
適用可能製品		<ul style="list-style-type: none"> オリゴペプチド、機能性アミノ酸などのペプチド関連、ポリアミド関連、界面活性剤や医薬中間体分野など 新しい多孔質無機質材料の開発
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	小村 賢一 岐阜大学 工学部 機能材料工学科 材料創成工学 准教授
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	岐阜大学 産官学融合本部 058-293-2025 / 058-293-2022 yugo@gifu-u.ac.jp

■知的財産 特願 2010-187694 カルボン酸アミドの製造方法及びそれに使用するアミド化触媒 小村賢一 他

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2011年11月1日